

盆栽 (管理編)

何年も何十年もかけて、
時には100年以上じっくり育てる
盆栽。
マメな手入れが美しい芸術品を作り
上げます。ここでは松盆栽の一般的
な管理を紹介します。



1 盆栽の管理方法

■ 盆栽の置き場所は？

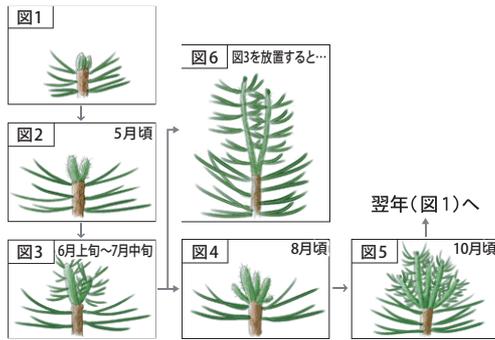
日当たりが良く、風通しの良い所で、地面より80cmくらい高くして夜露のあたるところが理想的です。

■ 肥料の与え方

骨粉を少し混ぜたものに水を加えて練ります。灌水後、用土の上に置いて与えてください。春は3、4、5月の各月中旬頃に1回ずつ、夏から秋にかけては7月下旬、8月中旬、10月上旬に与えます。

■ せん定

盆栽では、「せん定」は非常に重要。樹の大きさに合わせて葉を短くしたり、バランスを整える役割を担っています。



冬芽が伸びた新梢をそのままにしておくと(図2)、長く伸び、新葉も8月頃まで伸びて「自然のままの長さ」になってしまいます(図6)。これでは盆栽としては葉が長すぎるため、長枝もとの部分を少し残してきります(図3)。そうすることで、次に出る萌芽枝の数が増え(図4)、短いまま保つことができます。

■ 五葉松の方法

- 五葉松は4月中旬頃から芽が伸び始めます。新葉が2～3mm見えかけたら新梢の伸びはほぼ止まります。
- 黒松のように芽摘みしてはいけません。
- 9月頃に最終的に形を整えるようにせん定し、古葉を落します。

盆栽の植えかえ

■ 目的



盆栽は、植えてからの年数が経つにしたがって、鉢の中の根が多くなり、水を通しにくくなります。また、用土の粒が次第に崩れ、通気性・保水性が悪くなります。そうすると、樹は生育不良や枝枯れを起こしてしまいます。

伸びすぎた根を切り取って整理し、新しい用土で通気性や保水性、排水性を良くし、新根を良く伸ばすために植えかえをします。

針金による整姿

■ 針金かけの時期

針金かけはいつでもできます。ただし、松類では芽や葉の伸びている時期は、作業中に葉が落ちたり折れたりしやすいので避けるようにしましょう。

■ 曲げ方

- 枝を曲げたり方向を変える時は、針金を巻いた方向に枝と針金を一緒にひねって小枝の位置を整えます。
- 強く曲げて形を決めたい時は、曲げる部分の外側に針金がくるようにします。

針金を巻いた方向へひねる



外側に針金がくるように

病虫害

■ 病気

〈葉ふるい病〉

「症状」7～9月の葉に淡緑色の小さい斑点を生じます。秋冬は進展せず、翌春の4～5月に病葉の横に横縞の線が入り、発病樹は赤褐色を帯びます。

■ 害虫

〈マツオオアブラムシ〉

「症状」黒色大型(成虫約5mm)のアブラムシ。松以外の植物には寄生しません。アブラムシ類が多く発生すると、すす病が発生しやすくなります。

